



まちべんとは？

都市交通、交通まちづくりを研究する豊田都市交通研究所が、市民の皆様と一緒に豊田の「まちと交通」について考える勉強会です。



能登半島地震における支援物資の実態と課題



令和6年1月1日に発生した能登半島地震は、奥能登地域を中心に大きな被害をもたらしました。この地震において、**道路網に損壊が多発し、輸送の長時間化や孤立地域が発生したこと、人員や輸送能力の不足、必要な物資の多様化に対応しきれないこと等が課題として浮かび上がってきました。**そこで、今回の「まちべん」では、能登半島地震における物資伝票データに基づく物資の流れや、物資集積拠点の実情、現地での関係者の実際の動きを踏まえ、皆様とも意見を交わしつつ、**今後の豊田市における対応について、理解を深めることができると考えています。**

令和6年 **9** 月 **18** 日【水】

時間 18:30~19:30

対象者 どなたでもご参加いただけます

参加費 無料

定員 先着20名程度 (要事前申込)

会場 とよた市民活動センター ホール

〒471-0026 豊田市若宮町1-57-1 T-FACE A館9階

※Zoomでの参加も可能です。

お申し込みの際に会場参加もしくはZoom参加のどちらかをお伝えください。

申込

(公財)豊田都市交通研究所 電話：0565-31-8551
またはホームページ (<https://www.ttri.or.jp/>) のお問い合わせフォームからどうぞ
右のQRコードからもお申し込みが可能です。

講師

樋口 恵一氏

大同大学
建築学科 都市空間インフラ専攻
准教授

今回のまちべんのポイント

- ✓ 救援物資の実態：救援物資の伝票から、いつ・どの様なものが・どこへ流れたか
- ✓ 物資拠点等の実態：現地ヒアリング、国交省自主点検結果など
- ✓ 自衛隊の動き：道路閉塞時の動きとSEA BASING
- ✓ 今回の経験と今後に向けて

